### 0.調査の目的と方法

「まちにわ ひばりが丘」(以下「まちにわ」)の活動が地域の居住者にどう受け止められ、どのような効果を生んでいるのか、また、今後の活動のなかでどのような課題が存在し得るかを明らかにすることを目的に、「ひばりが丘フィールズ一番街」「ひばりが丘フィールズ二番街」「ひばりが丘フィールズけやき通り」「シティテラスひばりが丘」「UR賃貸住宅ひばりが丘パークヒルズ」(以下、それぞれ「一番街」「二番街」「けやき」「シティテラス」「UR」)の居住者を対象にアンケート調査を実施した(表 0)。

設問は、①回答者属性、②「まちにわ」の認知度とイベント等への参加、③「まちにわ」の運営、④「ひばりテラス118(以下「ひばりテラス」)の利用と運営、

⑤地域のつながり、⑥まちへの愛着と期待、の大きく 6項目からなる。

表 0 アンケート調査の概要

対象	ひばりが丘フィールズ一番街(分譲:144 戸) ひばりが丘フィールズ二番街(分譲:156 戸) ひばりが丘フィールズけやき通り(分譲:119 戸) シティテラスひばりが丘(分譲:343 戸) ひばりが丘パークヒルズ(UR 賃貸:1528 戸)
方法	分譲:各戸に投函、管理組合ポストにて回収 UR:各戸に投函、郵送にて返送
期間	配布: 2017年11月 回収: 2017年12月
回収率	一番街:34.7% (配布数 144、回収数 50) 二番街:20.9% (配布数 153、回収数 32) けやき:33.6% (配布数 119、回収数 40) シティテラス:23.8% (配布数 256、回収数 61) UR:16% (配布数 1396、回収数 224)
	二番街: 20.9% (配布数 153、回収数 32) けやき: 33.6% (配布数 119、回収数 40) シティテラス: 23.8% (配布数 256、回収数 61)

### 1.回答者の属性

まず、回答者の基本的な属性を示す。「住まい」は 分譲と賃貸がそれぞれ半数を占める。分譲のなかで は「二番街」の回答がやや少ない(図 1-1)。

□ 一番 (50)

12%
□ 二番 (32)
□ けやき(40)
□ けやき(40)
□ UR(224)

図 1-1 住まい(n=407)

「性別」は 2/3 が「女性」である(図 1-2)。「年齢」は「40代」以下が約 4 割、「70代」以上が 1/3 を占める(図 1-3)。「家族形態」では「夫婦」からなる世帯が 3 割、「親と子(未成年の子がいる)」(以下、親と子(未成年))も 3 割と最も多く、「一人暮らし」(25%)、「親と子(成人したこがいる)」(以下、親と子(成人))(11%)と続く(図 1-4)。「職業」は「会社員」が 3 割、「無職」が 1/4、「専業主婦・家事手伝い」が 2 割近

くである(図 1-5)。 ひばりが丘というまちでの「居住年数」は、「5年未満」が5割と最も多いが、「20年以上」の世帯も1/3いる(図 1-6)。

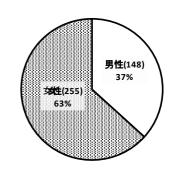


図 1-2 性別(n=403)

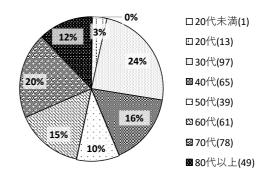


図 1-3 年齢(n=403)

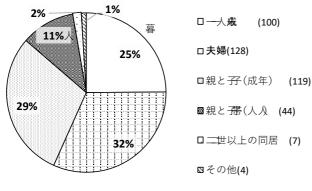


図 1-4 家族形態(n=402)

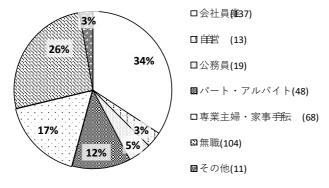


図 1-5 職業(n=403)

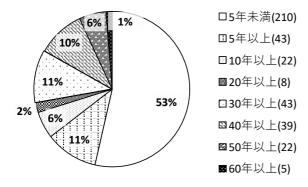


図 1-6 居住年数(n=392)

図 1-7~11 は、以上の「性別」「年齢」「家族構成」「職業」を「住まい」ごとに示したものである。

「UR」の回答者は高齢の単身世帯が多く、「居住年数」では「5年未満」が25%であった。

一方で分譲では、「シティテラス」は「30代」が、「けやき」で5年以上の「居住年数」の回答者が比較的多かった。

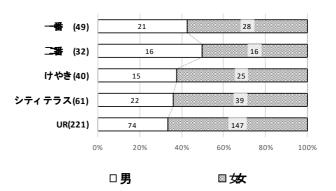


図 1-7 住まい別 性別(n=403)

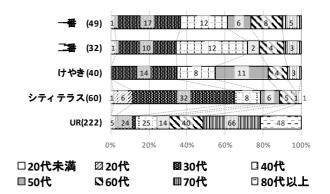


図 1-8 住まい別 年齢(n=403)

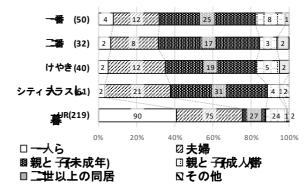


図 1-9 住まい別 家族構成(n=402)

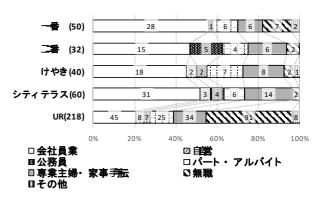
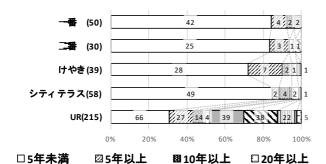


図 1-10 住まい別 職業(n=400)



Ⅲ50年以上

□60年以上

図 1-11 住まい別 居住年数(n=392)

□40年以上

□30年以上

図 1-12、13 は、回答者の「年齢」別に見た「家族 構成」「性別」である。「40代」以下の世帯では、大 半が「親と子(未成年)」からなる子育て世帯である。 また、「女性」の回答者は若い世代が多い。

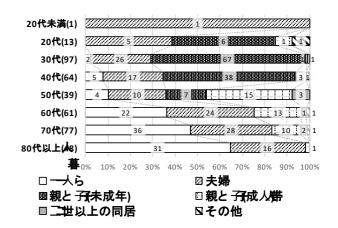


図 1-12 年齢別 家族構成(n=400)

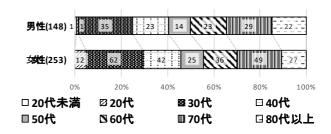


図 1-13 性別別 年齢(n=401)

## 2.「まちにわ」の認知と参加

### 2-1 「まちにわ」の認知度

「まちにわ」を知っているかどうか尋ねたところ、 半数近くが存在・活動ともに「知っていた」(図 2-1)。

住まい別では、分譲の「一番街」「二番街」「けやき」では何らかの形で活動を知っていた割合が9割を占めていることがわかる。一方、「UR」では1/3が「知らなかった」と回答している。

「シティテラス」が最も新しく 2017 年に入居が始まったことから考えると、分譲では、居住期間が長いほど認知度が高くなる傾向があった。

一方、それでも「全く知らなかった」層が 2 割近 く、活動を知らなかった層が 3 割ほど存在していた (図 2-2)。

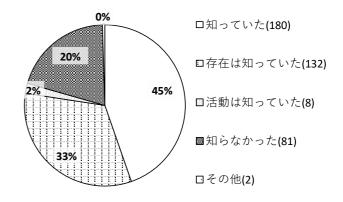


図 2-1 「まちにわ」の認知度(n=403)

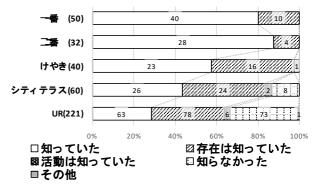


図 2-2 住まい別 「まちにわ」の認知度(n=403)

図 2-3、4 は「まちにわ」の認知度と「性別」「年齢」の関係を示したものである。「性別」ではほとんど違いは見られず、「年齢」は、「20代」を除けば若いほど認知度が高い。

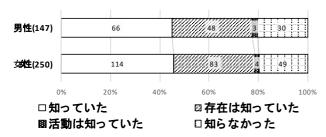
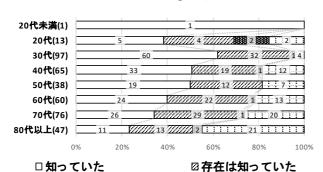


図 2-3 性別別 「まちにわ」の認知度(n=399)



■活動は知っていた □知らなかった

図 2-4 年齢別 「まちにわ」の認知度(n=397)

#### 2-2 イベントへの参加状況

この一年間に「まちにわ」主催のイベントに参加したことがある回答者は、全体の1/3であった(図2-5)。「住まい」別に見て見ると、分譲の「一番街」「二番街」「けやき」「シティテラス」では参加者が概ね半数を占めるが、「UR」では2割に満たない(図2-6)。

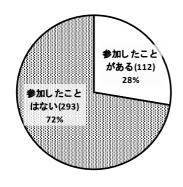
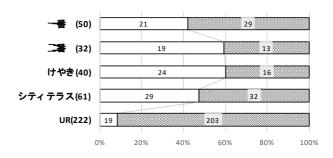


図 2-5 イベント参加状況(n=405)



□参加したことがある □参加したことがない

図 2-6 住まい別 イベント参加状況(n=405)

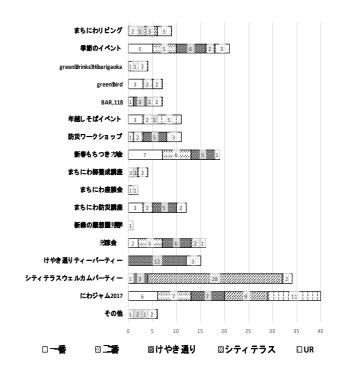
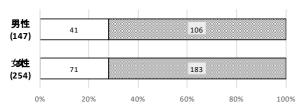


図 2-7 住まい別 参加したイベント(複数回答/n=112)

図 2-8、9 は、イベントへの参加状況と「性別」「年齢」との関係をみたものである。図 2-3、4 で見た「まちにわ」の認知度と同様に、「性別」は違いがなく、「年齢」は若い世代ほど参加率が高い。実際に参加したイベントを見てみると、「性別」では「女性」が多く割合を占めるイベントもある一方、「男性」が半数近く占めるイベントもあった(図 2-10)。また、50代以上の参加者の割合が比較的高いイベントは「年越しそばイベント」「防災ワークショップ」「まちにわ防災講座」であった(図 2-11)。



□参加したことがある ■参加したことはない

図 2-8 性別別 イベント参加状況(n=401)

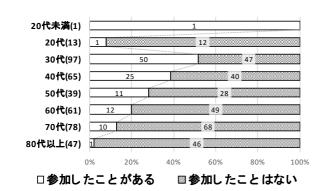


図 2-9 年齢別 イベント参加状況(n=401)

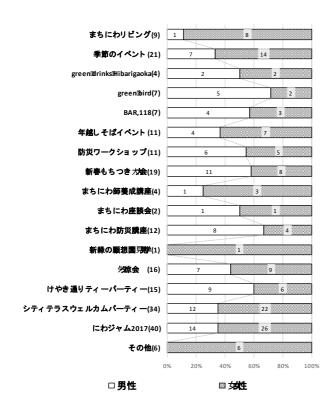
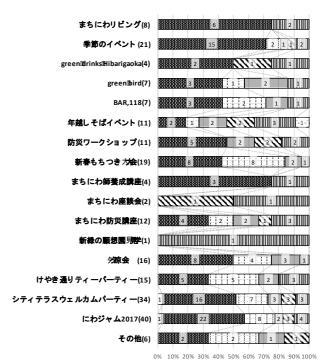


図 2-10 性別別 参加イベント(複数回答/n=112)

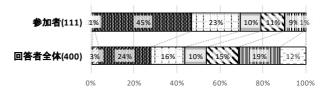


□20武未満 図20代 ■30代 □40代 □50代 □60代 Ⅲ70代 □80代以上

図 2-11 年齢別 参加イベント(複数回答/n=111)

以下で、イベントに参加した回答者に着目し、回答 者全体の傾向と比較する。

「年齢」では、「30代」「40代」の参加率が高かった。また、「家族構成」では「親と子(未成年)」の参加率が顕著に高かった。「職業」では、「会社員」と「主婦」の参加率が高かった(図 2-12~14)。



□20代未満 図20代 閏30代 □40代 □50代 閏60代 Ⅲ70代 □80代以上

図 2-12 イベント参加状況別 年齢

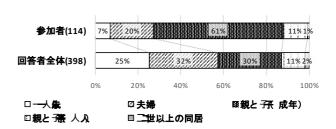


図 2-13 イベント参加状況別 家族構成

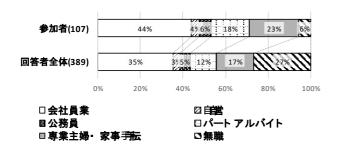


図 2-14 イベント参加状況別 職業

#### 2-3 イベントへの不参加理由

図 2-15 に示すように、イベントに参加しなかった 理由は、「よく知らなかった」が 4 割と最も多いが、 「関心はあったが、参加できなかった」との回答も 3 割近くを占めている。これと「住まい」との関係を見 て見ると、「よく知らなかった」回答者は「UR」が多 い。また、「二番街」では「知っていたが、あまり関

心がなかった」との回答が目立つ(図 2-16)。

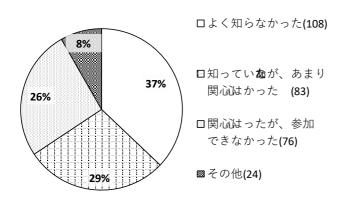


図 2-15 イベントに参加しなかった理由(n=291)

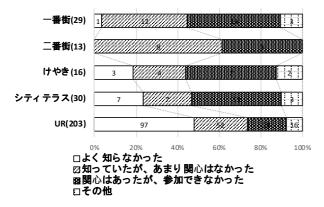


図 2-16 住まい別 イベントに参加しなかった理由(n=291)

イベントに「参加しなかった理由」と「性別」で比べると、「男性」は「知っていたが関心がなかった」割合が高く、一方、「女性」では「関心はあったが参加できなかった」傾向が高く見られた(図 2·17)。「年齢」との関係では、「関心はあったが参加できなかった」回答者が若い世代に集まっている傾向があった(図 2·18)。

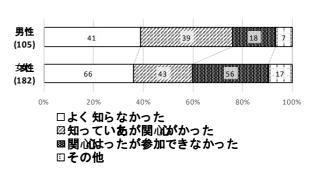


図 2-17 性別別 イベントに参加しなかった理由 (n=287)

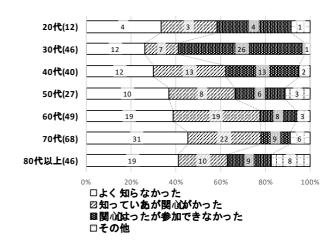


図 2-18 年齢別 イベントに参加しなかった理由 (n=288)

### 2-4 希望するイベント

今後「企画したい/して欲しいイベント」を尋ねた ところ、図 2-19 の結果が得られた。

「健康・運動」「趣味の交流」「高齢者の暮らし」関連のイベントへの要望が特に多いが、幅広いイベントへの関心がうかがえる。「住まい」との関係では、「健康・運動」への関心は「UR」で特に高い。

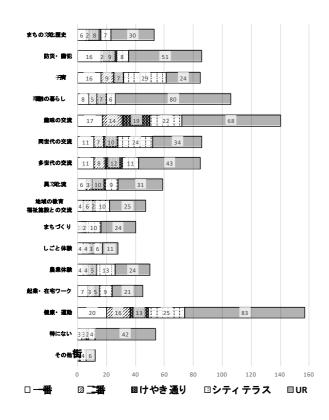


図 2-19 住まい別 企画したい/して欲しいイベント(複数回答/n=404)

図 2-20、21 は「企画したい/して欲しいイベント」と「性別」「年齢」の関係を示したものである。「性別」について、「男性」の要望が「女性」を上回るものは「地域の教育・福祉施設との交流」「まちづくり」だけであった。「年齢」については、「高齢者の暮らし」の希望者には高い年代が多く、「子育て」イベントの希望者の多くは若い世帯である。

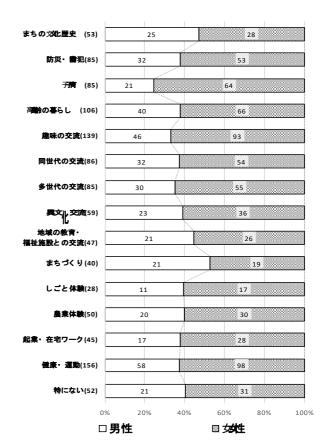
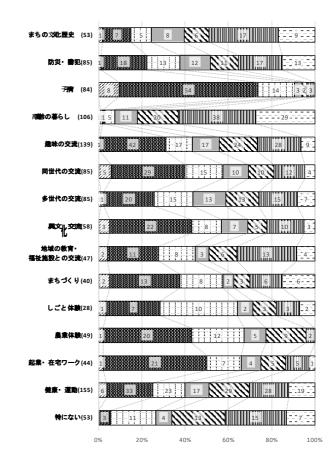


図 2-20 性別別 企画したい/して欲しいイベント(n=404)



□20配 未満 図20代 頤30代 □40代 □50代 □60代 □70代 □80代以上

図 2-21 年齢別 企画したい/して欲しいイベント(n=404)

図 2-22 はイベントへの参加状況別に「企画したい /して欲しいイベント」を表したものである。

全体での傾向としては、「健康・運動」が最も関心が高いが、イベントへ参加したことがある回答者が最も関心を寄せていたのは「趣味の交流」であった。

イベントの参加の有無で大きな差が認められたのは「防災・防犯」、「高齢者の暮らし」と「健康・運動」であり、いずれも「参加したことがない」回答者からの要望が多かった。

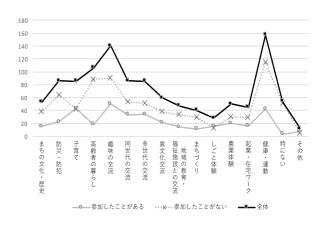


図 2-22 イベント参加状況別 企画したい/してほしいイベント(n=404)

## 3.「まちにわ」の運営

#### 3-1 運営への参加状況

図 3-1 は、「まちにわ」の運営にボランティア・スタッフ・理事などとして参加しているかどうかを尋ねたものである。現在、「参加している」と答えた回答者は 4%であった。図 3-2 に「住まい」との関係を示す。

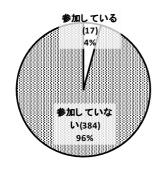


図 3-1 運営への参加状況(n=401)

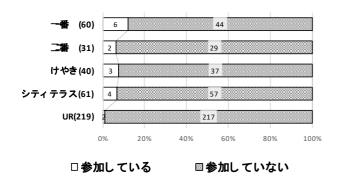


図 3-2 住まい別 運営への参加状況(n=401)

図 3-3、4 は「運営への参加状況」と「性別」「年

齢」との関係を示したものである。「性別」について、「参加している」回答者は「女性」より「男性」の方が多い。「年齢」は「参加している」回答者に「30代」が多いのが目立つ。

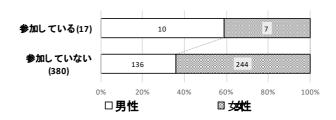
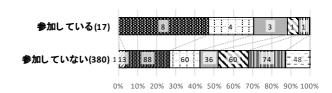


図 3-3 性別別 運営への参加状況(n=397)



#### □20代未満 図20代 閏30代 □40代 □50代 図60代 Ⅲ70代 □80代以上

図 3-4 年齢別 運営への参加状況(n=397)

#### 3-2 運営への参加意向

運営に「参加していない」と答えた居住者に今後の 意向を尋ねた。「賛同するが参加しない・できない」 が最も多く 54%であったが、「参加したい」との回答 が 1 割あった(図 3-5)。

「住まい」との関係を見てみると、「参加したい」 という回答者は新しい分譲ほど多かった(図 3-6)。

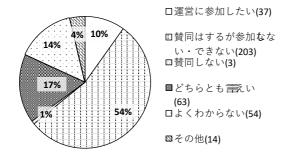


図 3-5 運営への参加意向(n=374)

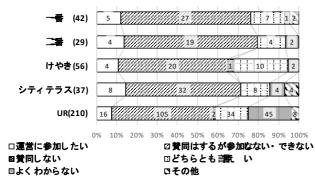


図 3-6 住まい別 運営への参加意向

図 3-7 は、運営に「参加したい」と答えた回答者に想定される「運営への参加形態」を尋ねたものである。順に「ボランティア」「アルバイトスタッフ」が多かった。なお、用意した「「まちにわひばりが丘」の理事として」の選択肢には回答がなかった。

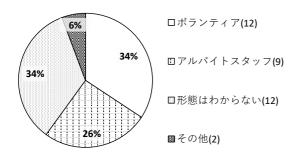


図 3-7 運営への参加形態(n=35)

「性別」「年齢」と「運営への参加意向」の関係を図 3-8、9 に示す。「性別」と「運営への参加意向」の間 には目立った差はなかった。「年齢」では、「参加した い」と答えた回答者は「30代」が多かった。一方「賛 同しない」のはほぼ「50代」以上である。

運営に「参加したい」と答えた回答者は「まちにわ」

への認識も高く、これまでイベントに参加したことがある回答者が多いことがわかる(図 3-10、11)。

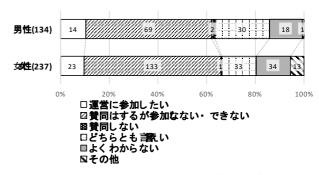


図 3-8 性別別 運営への参加意向(n=371)

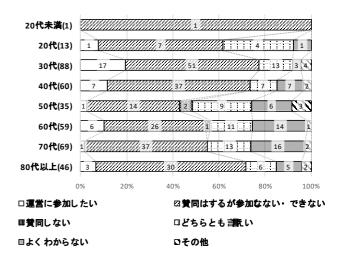


図 3-9 年齢別 運営への参加意向(n=371)

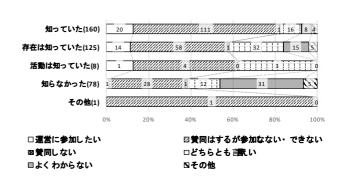


図 3-10 「まちにわ」の認知度と運営への参加意向 (n=372)

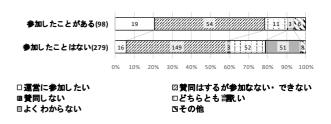


図 3-11 イベントへの参加状況と運営への参加意向(n=372)

### 4.「ひばりテラス」の利用・運営

#### 4-1 「ひばりテラス」の利用状況

図 4-1 は、エリアマネジメントの拠点である「ひばりテラス」内の「カフェ」「コミュニティスペース(以下、CS)」のこの一年間における利用状況を示したものである。ただし、アンケートでは「利用していない」回答者には、追加で「利用したい」「利用したくない」を選択させたが、この選択をしない回答が相当数あり、その場合は「利用していない」と分類して集計した。

「カフェ」の方が利用率は高く、すでに「利用している」が4割を占めている。「利用したい」と回答している、未利用者も3割近く存在することが見て取れる。一方「CS」では現状「利用している」割合は2割ほどであるが、「利用したい」との回答も3割は確認できる。

図 4-2 には、拠点の利用状況と「住まい」の関係を示した。「カフェ」は距離の近い「けやき」と「シティテラス」の利用割合が高く、「CS」は分譲の居住者の利用率が全体的に高い状況がうかがえる。「UR」の回答者は、他と比べて「利用したくない」が多い一方で、「利用したい」と答えている回答者の割合もまた多かった。

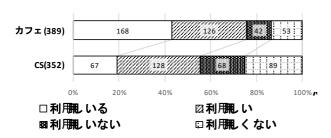


図 4-1 「ひばりテラス」の利用状況

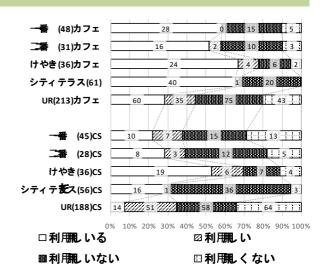


図 4-2 住まい別 「ひばりテラス」の利用状況

図 4-3 は、「ひばりテラス」の利用状況を性別で比較したものである。総じて、「男性」より「女性」の方が「利用している」割合が高い。

「年齢」との関係を見てみると、20代以下を除いて、いずれの施設も若い年代ほど利用率が高かった(図 4-4)。特に「CS」は大半が「40代」以下の利用者である。

「家族構成」との関係では、「親と子(未成年)」からなる世帯の利用率の高さが目立つ(図 4-5)。

図 4-6 は、図 3-1 で見た、「まちにわ」運営への参加状況・参加意向との関係を示したものである。運営に「参加している」回答者はこれらの施設を実際に利用している割合が高い。

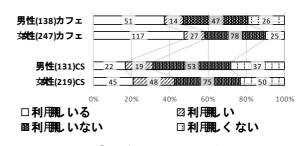


図 4-3 性別別 「ひばりテラス」の利用状況

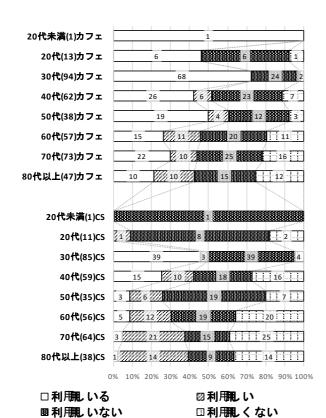


図 4-4 年齢別 「ひばりテラス」の利用状況

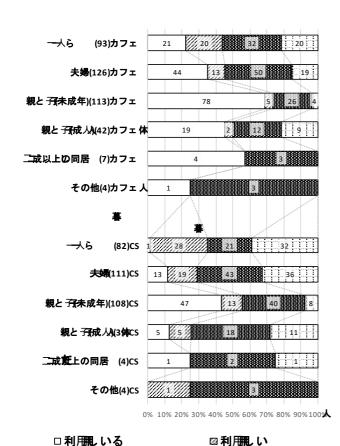


図 4-5 家族構成別 「ひばりテラス」の利用状況

□利用肌くない

■利用 いない

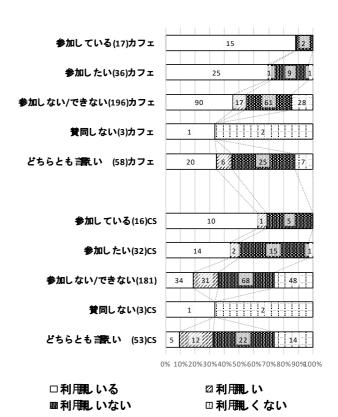


図 4-6 運営への参加意向と「ひばりテラス」の利用状況

### 4-2 「ひばりテラス」の認識と期待

ひばりテラス 118 が「現在どういう場だと感じられるか」「今後どういう場になってほしいか」を尋ねたところ、図 4-7 の結果が得られた。

「交流の場」「憩いの場」「趣味の場」「情報発信の場」になっているとの「現状評価」がなされているが、「見守りの場」になってほしいとの「期待」も少なくない。また「その他」以外、どの場でも「現状認識」よりも「期待」の方が高い値を示しており、寄せられた期待の高いがうかがえる。

これと「住まい」との関係を見てみると、「期待」 では全体的に「シティテラス」で高い割合が示されて いる(図 4-8)。

図 4-9 は、ひばりテラスの「利用者」と「未利用者」を比較したものである。両者の「現状認識」や「期待」に大きな開きはなかった。

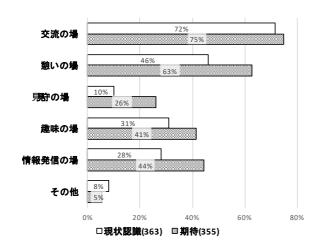
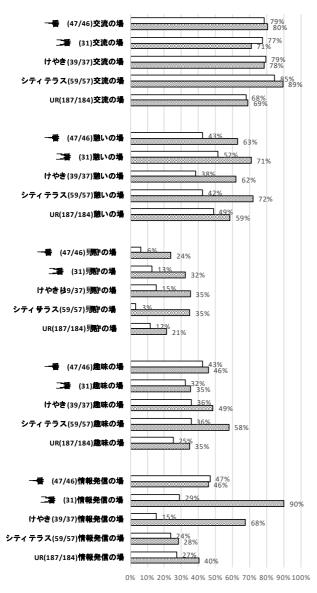


図 4-7 「ひばりテラス」の現状認識・期待(複数回答)



□現状認識 □期待

図 4-8 住まい別 「ひばりテラス」の現状認識・期待 (複数回答)

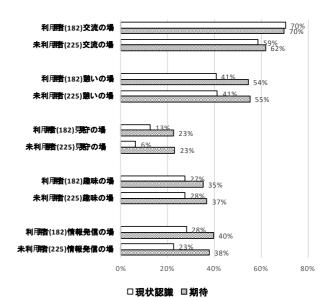


図 4-9 「ひばりテラス」の利用の有無と現状認識・期待(複数回答)

図 4-10~12 は、「ひばりテラス」への期待と「性別」「年齢」「家族形態」との関係を示したものである。「見守りの場」となることを期待する回答者に「女性」や「親と子(未成年)」からなる世帯がやや多いものの、その他は大きな傾向が見られない。回答者の属性に関わらず、様々な期待が寄せられていると言える。

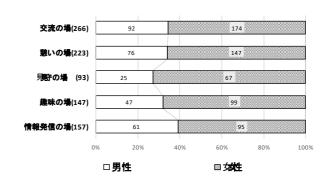


図 4-10 性別別 「ひばりテラス」への期待

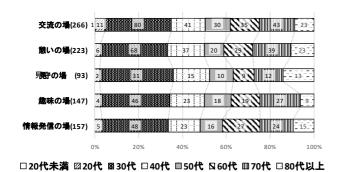


図 4-11 年齢別 「ひばりテラス」への期待

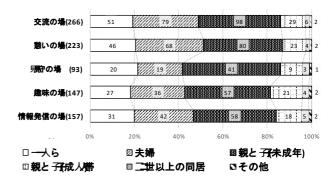


図 4-12 家族構成別 「ひばりテラス」への期待

### 5.地域のつながり

#### 5-1 親しい人の有無

同じマンション・団地や地域の内外に「親しく話をする人」や「頼みごとができる人」がいるかどうかを尋ねたものが、図 5-1、2 である。「親しく話をする人」「頼みごとができる人」ともに、「同じマンション・団地内」よりも「ひばりが丘内」の住民において多く、交流関係が多少なりとも地域に広がっている状況がうかがえる。一方、それ以上に「ひばりが丘外」の住民との交流の割合も大きいことが読み取れた。

図 5-3、4 には、それを「住まい」別に示した。「マンション内・団地内」「ひばりが丘内」での「親しく話しをする人」や「頼みごとができる人」は、マンションの中では一番新しい「シティテラス」が最も低くなっている。

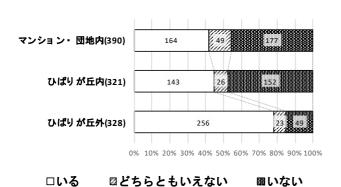
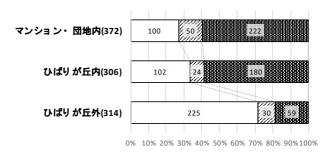
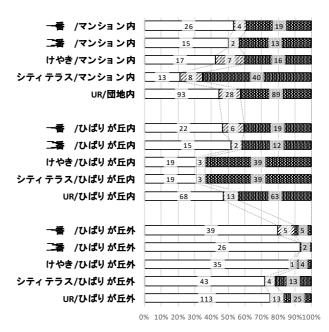


図 5-1 親しく話をする人の有無



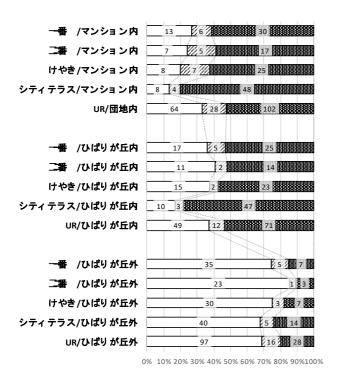
□いる 図どちらともいえない 聞いない

図 5-2 頼みごとができる人の有無



□いる 図どちらともいえない 聞いない

図 5-3 住まい別 親しく話をする人の有無



□いる 図どちらともいえない 聞いない

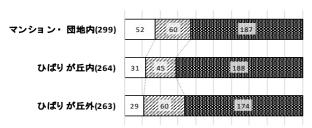
図 5-4 住まい別 頼みごとができる人の有無

#### 5-2 親しい人の変化

図 5-5、6 は「親しく話をする人」や「頼みごとができる人」が「まちにわ」や「ひばりテラス」での交流を通して広がったかどうかを尋ねたものである。

「頼みごとができる人」が増えるまでに至っていないものの、「親しく話をする人」が同じマンション・団地内で「増えた」と答えた世帯が 2 割近く見られる。

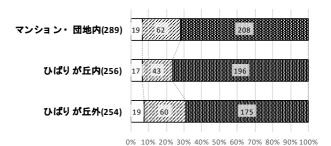
これを「住まい」別に見てみると、「けやき」において、マンション内の交流の輪がより広がっている 状況がうかがえる(図 5-7、8)。



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

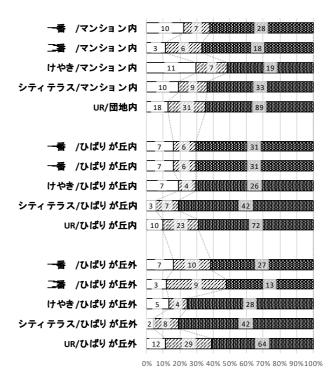
□増えた 図どちらともいえない 目変わらない

図 5-5 親しく話をする人の変化



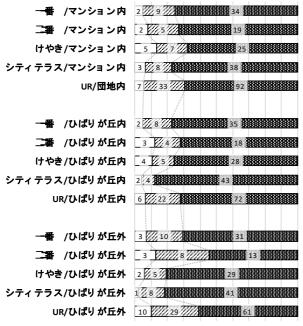
□増えた 図どちらともいえない ■変わらない

図 5-6 頼みごとができる人の変化



□増えた 図どちらともいえない 図変わらない

図5-7 住まい別 親しく話をする人の変化



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

#### □増えた 図どちらともいえない 圏変わらない

図 5-8 住まい別 頼みごとができる人の変化

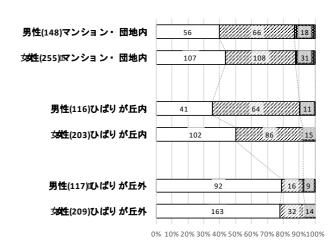
「性別」「年齢」「イベントの参加状況」が「親しく話をする人」の有無や変化にどう影響しているかをまとめたものが、図 5-9~12 である。

「性別」別では、「男性」より「女性」の方が「同 じマンション・団地内」「ひばりが丘内」においてや や広い交流関係を築いている。一方で、「ひばりが丘 外」になると「男性」の方がやや広い交流関係を築い ていることがわかった。

「年齢」別では、「50代」に向けて低下しつつある 社交性が「60代」以上になると回復している傾向が うかがえる。

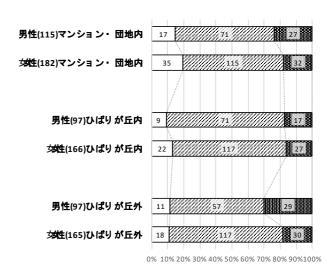
「イベントへの参加状況」について、イベントに参加した回答者の3割が「マンション内」または「団地内」に「親しく話をする人」が増えている(図5-13、14)。また、イベントに参加したことがある回答者の方が、「同じマンション・団地内」「ひばりが丘内」において広い交流関係を築いていた。一方でイベントに参加したことがない回答者のうち「同じマンション・団地内」「ひばりが丘内」の中で「親しく話をす

る人」が増えたケースは少なく、ひばりが丘でのエリアマネジメントにおいて、現時点でのつながりづくりの起点がイベントにある状況がうかがえる。



□いる 図どちらともいえない 聞いない

図 5-9 性別別 親しく話をする人の有無



□増えた 図どちらともいえない 園変わらない

図 5-10 性別別 親しく話をする人の変化

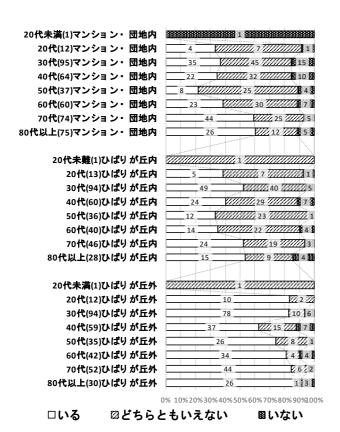


図 5-11 年齢別 親しく話をする人の有無

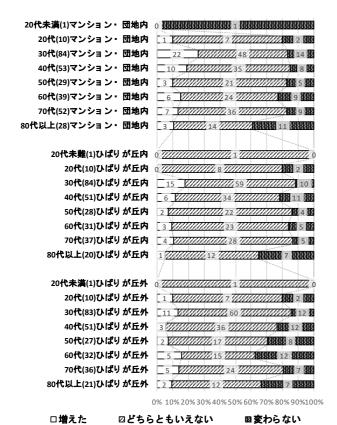
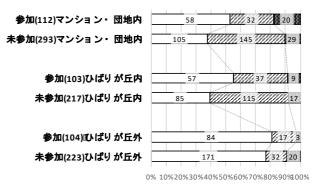
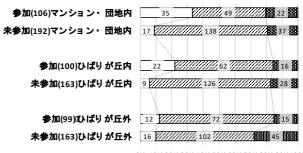


図 5-12 年齢別 親しく話をする人の変化



□いる 図どちらともいえない 聞いない

図 5-13 イベントへの参加状況と親しく話をする人の有無



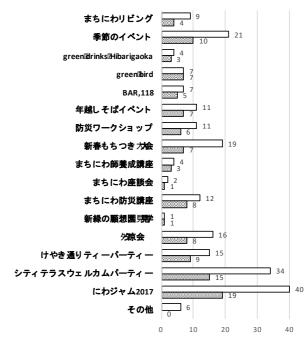
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

□増えた 図どちらともいえない 圏変わらない

図 5-14 イベントへの参加状況と親しく話をする人の変化

図 5-15 は、イベントに参加した 112 名を取り上 げ、「まちにわ」を通して「親しく話をする人」が 増えた回答者が参加していたイベントを比較し た。

「green bird」では、参加した全員が「親しく話をする人」が増えていた。また、どのイベントでも参加者の半数近くが話し相手が増えたと回答しており、居住者のつながりづくりにイベントが大きく寄与していることが読み取れる。



□全体(n=112) 図話し相手がえた参加者 (n=43)

図 5-15 話し相手が増えた回答者が参加したイベント

### 6.まちへの愛着と期待

### 6-1 自分のまちという意識

図 6-1 は、ひばりが丘が「自分のまち」だと感じるかを尋ねたものである。「強くそう思う」「まぁまぁそう思う」との回答が 2/3 を占める一方、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」という回答者も1割存在する。

これを「住まい」別に示したものが図 6-2 である。 「強くそう思う」は「UR」で 2 割強と最も多いが、 次いで多いのはマンションの中でも二番目に入居が 遅かった「けやき」である。図 1-11 で見たように、 「けやき」には以前にひばりが丘での居住歴がある 住民が 2 割いる。

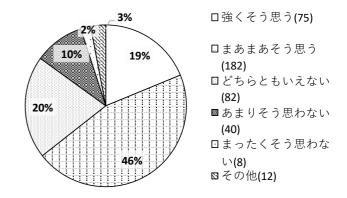


図 6-1 自分のまちという意識(n=399)

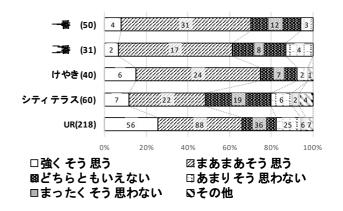


図 6-2 住まい別 自分のまちという意識(n=399)

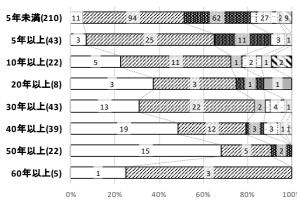
図 6-3~8 は、ひばりが丘での「自分のまちという 意識」と「居住年数」「性別」「年齢」「家族構成」「運 営への参加状況・意向」「親しく話をする人の有無(ひ ばりが丘内)」との関係を示したものである。

「居住年数」別ではおおよそ、「居住年数」と比例 して、「強くそう思う」「まあまあそう思う」の割合が 増加している。また、10年未満の居住者は「どちら ともいえない」といったように、判別がつかない回答 者が3割近く存在している。

「性別」別では男女間で大きな差異は見られなかった。「年齢」別では「強くそう思う」の割合は「80代以上」が4割と大きく占めていたが、「まあまあそう思う」との回答が「40代」以下では半数以上を占めていた。「家族構成」別では「一人暮らし」でもっとも自分のまちであると感じられており、時点は「親と子(成人)」であった。

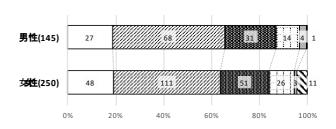
「運営への参加状況・意向」別では「参加している」 回答者と「参加しない/できない」回答者との間には 「強くそう思う」がやや「参加している」回答者の内 で大きな割合を占めていたが、それほど愛着の差異 は見られなかった。

「親しく話をする人の有無(ひばりが丘内)」別では 「親しく話をする人」が「いる」回答者の方がまちへ の愛着度が高いことがわかった。



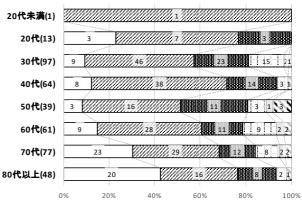
□強く そう思う ■どちらともいえない ■まったく そう思わない 図まあまあそう思う □あまりそう思わない □その他

図 6-3 居住年数別 自分のまちという意識 (n=387)



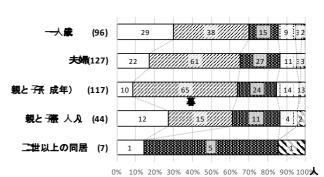
□強く そう 思う ■どちらともいえない ■まったく そう 思わない 図まあまあそう思う □あまりそう思わない □その他

図 6-4 性別別 自分のまちという意識(n=396)



 図まあまあそう 思う □あまりそう 思わない □その他

図 6-5 年齢別 自分のまちという意識(n=396)



□強く そう思う ■どちらともいえない 図まあまあそう 思う □ あまり そう 思わない □ その他

□まったくそう思わない □

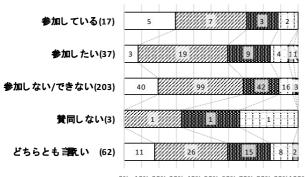
家族構成別

図 6-6

(n=395)

自分のまちという意識

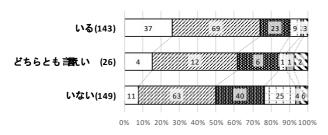
18



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

□強くそう 思う ■どちらともいえない □まったくそう 思わない 図まあまあそう 思う □ あまり そう 思わない □その他

図 6-7 運営への参加状況・意向と自分のまちという意 識(n=322)



□強くそう思う 図どちらともいえない □まったくそう思わない 図まあまあそう 思う 団 あまりそう 思わない

■ その他

図 6·8 親しく話をする人の有無と自分のまちという意識(n=318)

#### 6-2 まちの魅力と課題

図 6-9 は、ひばりが丘というまちの最大の「魅力」と「課題」を尋ねたものである。最大の「魅力」は「自然環境」や「まち並み・景観」に集中しているが、最大の「課題」として回答が集まったものは、現在評価が低い「まちの活気」や「高齢者の暮らしやすさ」である。

図 6-10、11 は、それらと「住まい」の関係を示している。「住まい」別に見ると、特に評価の高かった最大の「魅力」である「自然環境」「まち並み・景観」ではどの「住まい」も同様に評価が高いことが読み取れる。一方、中でも「通勤・通学のしやすさ」のなかでも「一番街」が占める割合は大きく、「一番街」の

居住者にとっては「通勤・通学のしやすさ」が他の「すまい」よりも魅力に感じられていることが読み取れた。最大の「課題」では「まちの活気」が一番取り上げられていたが、どの「住まい」の回答者も同様に「まちの活気」が「課題」であると感じていることも読み取れた。

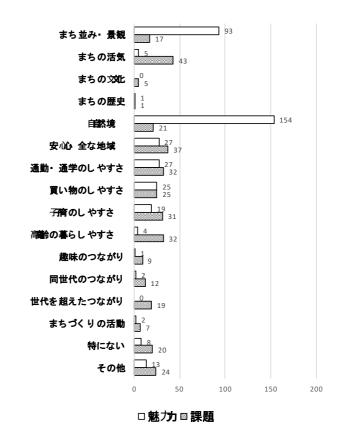
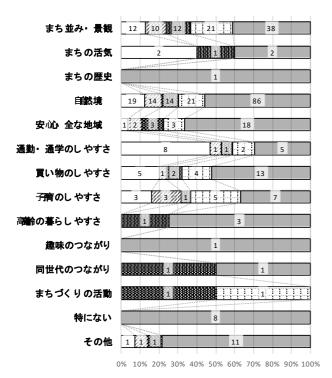
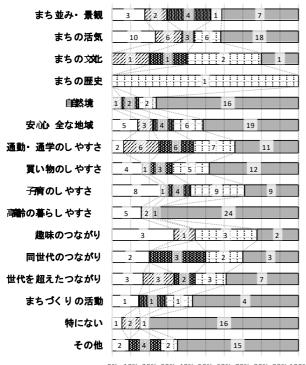


図 6-9 まちの最大の「魅力」と「課題」(n=381,335)



□一番 図二番 ■けやき 団シティテラス ■UR

図 6-10 住まい別 まちの最大の「魅力」(n=381)



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

□ 一番 図 二番 ■けやき □シティテラス ■UR

図 6-11 住まい別 まちの最大の「課題」(n=335)

図 6-12~14 は、これらの問いに対する回答を第 3 位まで集計したものである。なお、順位の重み付きはしていない。

第3位まで集計すると、最大の「魅力」で取りあげられた「自然環境」「まち並み・景観」以外にも「買い物のしやすさ」「安心・安全な地域」が「魅力」として高い評価を得ていることがわかった。一方で「課題」としては更に「まちの活気」が取りあげられている他、「魅力」でもある「安心・安全な地域」を「課題」としている回答者も多く見受けられた。

全体としては「まちの文化」「まちの歴史」を除いて、どの項目も一定数「課題」と見なされており、様々なことがひばりが丘に期待されていることが読み取れる。

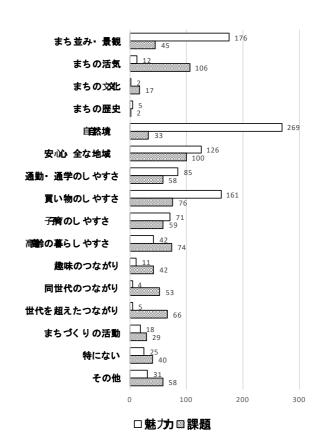
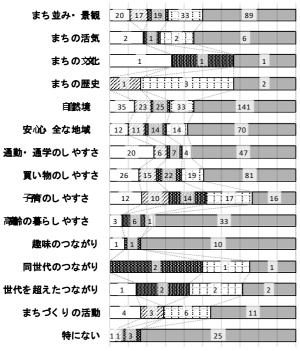


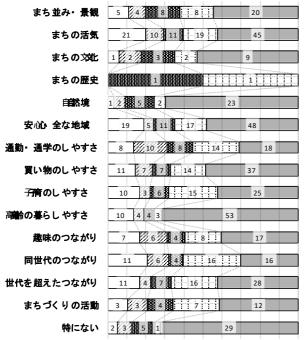
図 6-12 まちの「魅力」と「課題」(n=381,335)



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

#### □ 一番 図 二番 聞けやき □シティテラス ■UR

図 6-13 住まい別 まちの「魅力」(n=381)



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

□ 一番 図 二番 図 けやき □シティテラス □ UR

図 6-14 住まい別 まちの「課題」(n=335)

最後に、記述による意見・感想・アイデアの一部を 次ページ以降に挙げる。

### ・交流をきっかけに生まれた地域のつながりなどあ

### れば教えて下さい

	同じ子育てをする同世代のママと友達になれ、子供を通じて出掛けたりするよう		
•	になりました。	30代	女性
	まだ参加していないのでこれから交流できればと思います。	20代	女性
	親しく話をするほどではないが顔見知りになって挨拶をするようになりました。	30代	女性
	事務局スタッフと声をかけ合うつながりができた(理事会活動や防災イベントを		
	通じて)スタッフが顔を見れば声をかけてくださり嬉しい。	60代	女性
	子育てのイベントでの交流により、同じ年の子どもがいる親と仲良くなった	30代	男性
	たまたまエレベーターでお会いする同階の方とお知り合いになれました(ウェル		
	カムパーティーで知り合いました)	60代	女性
	まだ道でお会いした時に2,3言、言葉を交わす程度です。	50代	男性
١.	まだ親しいとまでいかないが、引っ越してきて数ヶ月で様々なイベント等に参加		
	してひばりが丘が地元であるという感情がでてきています。	40代	女性
١.	ラインで繋がれる人ができた。顔見知りで挨拶ができるようになった人が増え		
	t <sub>o</sub>	40代	女性
	まだ参加したことがないので、ぜひ参加して交流を深めたいです。	30代	女性
	ウェルカムパーティーで子どもと同じ学年の友達ができたのはありがたい。(未		
	就学児のため知り合うきっかけがなかった)	30代	女性
•	他のマンション住人との関わりを持つきっかけ(橋渡し)	30代	男性
١.	入居当初の子ども向けイベントで、同じマンションでのお友達ができ、今でもひ		
	ばりテラスのお部屋を借りて集まっています。	30代	男性
	同じ世代の方とお友達になれました。	30代	女性
	顔見知りの方が増えた		女性
	運営をしている方等と親しく話せる	70代	女性

# ・今後企画したい、または企画してほしいイベント

### のテーマは?

_			
•	花火大会	30代	男性
	お祭りなど、ぷらりと立ち寄れるイベント	40代	女性
	子育て、小学生以上の企画希望です。出身地別など。	30代	女性
	旅	30代	女性
	ペット交流	50代	男性
	ミュージック	70代	女性
	ライブ(音楽など)	30代	男性
	庭はもともとアウトドアなのですから。「移動まちにわ」コーヒーショップ。折りたたみ持参でクッキー焼いて参加します。他の番街からもあつまって、みなさんドアから出てきて、お話・交流できる「まちにわ」を作ってください。企画		
	を。	50代	女性
	ものづくり	40代	男性
	意外と少ない継続的な(一度や二度では本当の交流はできない。何度もやってコミュニティ作りに参加できるといい)マンション住民の交流、誕生日会や食事		
	会、忘新年会など。	40代	男性
•	フリーマーケット	30代	女性
•	コンサートや講演会	60代	男性
	地元の野菜を常時買えると嬉しい	30代	女性

・まちにわ「まちにわひばりが丘」のイベントについて、ご意見・ご感想やアイデアがありましたらお聞かせください。

	スポーツ観戦とか。今は子供向けや赤ちゃんのいるママ向けのイベントが多いの		
•	でもっといろんな年齢の人が参加できるイベントがあっても良いと思います。	30代	女性
	バザー開催はどうでしょうか?	40代	女性
	バーベキュー。料理教室。	30代	女性
	食育に関するイベントの開催を希望する。うどんやそば打ちイベント	60代	男性
	高齢者の興味をそそるような企画を希望します。	60代	男性
	ウェルカムパーティーの際に耳にした「パパ会」を是非開催して欲しいです。普	0010	/ J III
	段母親たちが児童館等で色々なコミュニケーションをとっている事に対して、父		
	親としてちゃんと理解して欲しいので。	30代	女性
	子連れで参加できるワークショップ(お手頃料金だと尚嬉しい)があれば参加		
Ŀ	してみたいです。	30代	女性
	仕事をしているとなかなか参加できません。日程などに幅があるといいですね。	50代	女性
	一つの点でなく広場などを利用しながら線でつながっていくイベント活動を期待		
.	したい。まちにわにつながる線に。「まちにわ」の企画力なら可能なのでは?広		
	場を利用した小さなフェスとコーヒーとか、参加者待っているだけでなく動いて		
	くれたら嬉しい。	50代	女性
Ŀ	若い世代のイベントばかりである。フリーマーケットを企画してほしい。	50代	女性
	土日子ども向けのイベント以外、大人向けの平日のイベントも考えていただきた	4075	
		40代	女性
	まちにわ体育大会や団地エリアを利用した宝探し、まちがい探しなど、住民が自然と交流できて、気軽に参加できるイベントを開催してほしい。もちろん運営も		
•	然と父流でさて、気軽に参加できるイベントを開催してはしい。もちろん連宮も 住民主体で。	40代	男性
	まちにわ食堂(100人食堂)は定期的に開催(冬はおやすみ)するとおしゃべり	1010	I⊤
.	の場としていいと思う。	30代	女性
	若い人・子ども向けのものが多いと感じるので、入っていけない感がある。	50代	女性
	まずは参加しないと始まらないが、それさえもままならない人々も結構います。		
	一人暮らしは寂しいものですが、性格が積極的でないと思い切って輪に入れない		
	ものです。そうした人々を仲間にしてあげる策がないものかしら。考えてくださ		
	い。食事会などもあるけど一人参加だと行っても交流できる人が居ないので早々		
	に食べて帰ってくるだけです。仲間がほしいです。	80代以」	上女性
	夫婦ともに働いているので、イベント情報etcが事前に知りにくい。テラス118	00.75	- L-1
	ができた時に見学に行きました。趣旨は大賛成です。頑張って下さい。	60代	男性
	まちにわの内容やイベントが何をやっているのかわからなかったので、今回のよ		
'	うにパンフレットがあるとわかりやすかったので、何かイベントをやるとき、看板などがでると行きやすい。	20代	女性
	仮なとかでると行さやすい。 こまめに様々なイベント、活動を行っていてとてもいいと思います。仕事などで	∠U7 \	メは
	中々参加できていないのですが、続けていってほしいです。	20代	女性
	パークヒルズに住んでいるものとして、まちにわ「ひばりテラス118」でいろん		
	なイベントがあり、子供達がたくさん集まって、楽しんでいるのを見て、微笑ま		
	しく思っております。	70代	女性
	夕涼み会に参加しました。子どもが大変喜んでいました。すてきなお土産もびっ		
	くりしました。皆様の活動が有難かったです。ありがとうございます。	50代	女性
	街や人が活性化されてとてもいいと思っています。こういう活動力のある場はあ		,
	まりないので嬉しいです。	30代	女性
	ユニークな発想アイデアで地域の活性化に大いに役割を果たしていると感じませ、粉上生とは「スピナの山東を復済されて共の元気が戻ってきたとうに思いま		
•	す。数十年ぶりに子どもの山車を復活されて昔の元気が戻ってきたように思いま した。	60代	男性
	良く通りでみかけ楽しむようすでいいと思う		
Ė	若い方々の参加をみているだけでも楽しそうです。急に若い方々、子連れの方々	70代	男性
	右い力々の参加をみているたけでも楽してうです。 忌に右い力々、于連れの力々に入ると体力的に疲れると思う。	70代	女性
	金額設定が高いので参加したいと思うのものがあっても参加するところまで至ら	. 910	
•	ない。	30代	女性
1		*	